

## 2024 年度 第 2 回理事会 議事録

1. 日 時 2024 年 9 月 4 日 (木) 16:00～17:00
2. 開 催 方 法 Zoom 会議
3. 参加者 橘高会長, 小野副会長, 原田副会長, 鶴石企画部会副部長, 井田財務部会部長,  
牧野財務部会副部長, 古川技術部会部長, 奥村技術部会副部長,  
内川技術部会副部長, 天野広報部会部長, 奈良会員部会部長,  
竹内 (一) 会員部会副部長, 鶴巻監事, 南監事  
林特別顧問  
齋田事務局 以上 16 名  
欠席者 竹内総務部会部長, 森企画部会部長, 山川企画部会副部長, 有山広報部副部長,  
岡崎総務部会副部長,  
以上 5 名

### 4. 資料 (別紙参照)

資料 2024 年度 第 2 回理事会 次第  
2024 年度 9 月 4 日 第 2 回理事会 議案

### 5. 次第

#### 5-1 橘高会長挨拶

「会長の橘高です。第 1 回目から時間が経っていますが理事会をなるべく多くやるという  
ことで、本日も活発な意見を交換できればと思いますので、宜しくお願いいたします」

#### 5-2 今後の理事会のあり方について

第 1 回 (5 月 24 日 済) と 定時社員総会前に開催した  
第 2 回 (9 月 4 日 済) Web 開催  
第 3 回 (11 月 1 日) JCI (東京) 開催予定  
→事務局齋田から上記を報告した。

5-3 議題

議案 1：理事の交通費及び宿泊費について →承認

以下の内容を事務局齋田が説明した。

井田財務部会部会長に確認をしたところ、2024年度は以下のように支払いをしても問題がないが、3月の決算にて再度、交通費及び宿泊費を精査する。

開催地		交通費	宿泊費	合計
5月（名古屋）	第1回理事会（当初）	621,980円	130,000円	776,098円
	（結果）	338,594円	100,000円	453,594円
10月（東京） （2024年は11月）	第2回理事会（当初）	621,980円	130,000円	776,098円
	（予想）	422,128円	30,000円	443,368円
翌年3月（東京）	第3回理事会（当初）	762,776円	130,000円	917,776円
	（予想）	422,128円	30,000円	443,368円
年次大会（青森）	（当初）	1,480,204円	360,000円	1,865,204円
		支給なし	支給なし	支給なし
				4,435,176円
	（予想）			1,340,330円

議案 2：理事会の開催について →承認

以下の内容を事務局齋田が説明した。

奈良理事より「理事会の名称は通し番号でよい。Web理事会でも理事会であるのでWeb（リモート）だからといって全員参加の理事会とWeb理事会の番号を分けなくてよい」との意見があり、通し番号としました。以下の表の青字を変更した。

月	令和5年まで	令和6年から（案）
5月	（AM）第1回理事会  （PM）定時社員総会 （名古屋開催）	（AM）第1回理事会 JCD理事の全員参加 （費用は全額支給） （PM）定時社員総会（名古屋にて開催予定）
8月（9月）	第2回理事会（Zoom）	第2回理事会（Zoom）
10月 （2024年は11月）	第1回部会長会議 （JCI 東京開催）	第3回理事会（名古屋か東京 JCI） （費用は全額支給） （2024年度は東京 JCIにて開催）
11月 （2024年は12月）	第3回理事会（Zoom）	第4回理事会（Zoom）
翌年1月 （翌年2月）	第4回理事会（Zoom）	第5回理事会（Zoom）
翌年3月	第2回部会長会議 （JCI 東京開催）	第6回理事会（東京 JCI） （費用は全額支給）

### 議案3：JCD 年次大会（青森大会）について ➡以下全て、承認

1. 年次大会のプログラム（古川技術部会部会長から）

JCD 事務局で作成していただいた内容（発表者と時間配分）について、古川部会長から説明があった。修正点は、各地区診断士会に発表して頂きたいので、午後の保有技術発表を1発表追加したため、昼休憩を「12：00～13：00」であったのを「12：00～12：45」とし、午後の休憩を20分とっていたが15分にしたこと。
2. 当日の役割分担（古川技術部会部会長から）

司会は、古川部会長と奥村副部会長で途中交代し、講評については区切りを打合せして決めることとし、了承を得た。

コンクリート工学冊子への投稿は、内川副部会長にお願いし、了承を得た。
3. 年次大会での優秀な発表について（古川技術部会部会長から）

以下が決定しました。

  - ・年次大会の最初の挨拶で「コンクリート工学」への投稿を優秀発表者から選抜する旨をアナウンスする。
  - ・事前に優秀発表者を2～3件選定して、事務局にて賞状を準備する。
  - ・事前に選定はするが、プレゼンも採点とする。
  - ・技術部会で採点表を作成する。
  - ・交流会の最初に時間を頂き、優秀者を表彰する。

最優秀者発表は、優秀者の中から決定するが、無い場合もある。

  - ・優秀者の方には、コンクリート工学冊子への投稿「テクニカルレポート」をお願いする。（投稿については無理な方もおられるので、無理強いはいしない）
4. 次回の JCD2025 年次大会について（事務局齋田から）

2025 年度は島根県コンクリート診断士会で決定している。

島根県コンクリート診断士会の井田理事から島根県コンクリート診断士会に承認を得ているとお話して頂きました。
5. 発表申込について（事務局齋田から）

メールでの発表申込で受信エラーがあったため、次回からは Google フォームで発表申込をお願いします。
6. CPD について（事務局齋田から）

申請して無事許可されましたが、プログラム変更前の申請でしたので CPD 単位がプログラムと合っていないです。そのため、年次大会の最初の挨拶でお知らせする。
7. 申込状況について（事務局齋田から）

参加状況を「参加者名簿エクセルデータ」で明示した。

以下は、2024 年 9 月 5 日現在 AM です。

  - ・現地参加者 41 名
  - ・現場見学会 27 名
  - ・交流会 35 名

奈良理事から 60 名程度まで収容できる部屋であるので、まだまだ余裕があるとのことでした。

#### 議案 4：JCD2025 年次大会以降について確認 →承認

事務局齋田から説明し、以下の表を明示した。

ただし、鶴石理事から鳥取県コンクリート診断士会の年次大会が以前は 2030 年だったが 2028 年になった理由を問われたので、事務局齋田が説明した。

理由は、富山県コンクリート診断士会の森理事から 2030 年くらいにして欲しいとの要望があったのと、鳥取県コンクリート診断士会となるべく早く交流していきたいとの思いがあったことで 2028 年としました。

開催年度	開催診断士会	地域
2025	鳥根県	中国
2026	静岡	静岡
2027	福井県	北陸
2028	鳥取県	中国
2029	大分県	九州
2030	富山県	北陸
2031	長野県	信越
2032	北海道	北海道
2033	京滋	関西

#### 5-4 確認事項

##### 確認事項 1：JCD2024 年次大会（青森大会）について →理事様、確認済

事務局齋田から以下を説明した。

##### 1. プログラムの変更

発表申込者からのメール受信エラーがあり業務体験発表を 1 件追加した。このため、昼休憩を「12：00～12：45」とし、午後休憩を 15 分としたプログラムへ変更した。

##### 2. 青森大会について

奈良理事から「ご案内」を説明した。

「ご案内」は明示した通りだが、現場見学会のプログラム（行程）を変更した。

事務局へ変更した現場見学会のプログラムをお知らせ（メール）してあるので、後からお知らせして欲しい。（事務局からお知らせします）

##### 確認事項 2：かわら版について →理事様、確認済

事務局齋田から以下を説明した。

- ・かわら版第 34 号の発行月日を変更したい理由は、10 月 10 日に年次大会があり 10 月 15 日の発行は難しいと判断したこと。
- ・発行月日を 11 月 15 日とする。
- ・変更によって内容が変わる。

巻頭言を「JCD 年次大会報告」として、その他を「JCD 年次大会優秀者発表」とする。

JCDかわら版発行予定 表

作成修正：2024.09.04

No.	発行予定日	項目	原稿依頼先	内 容
27	2023/1/10	巻頭言	会 長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	島 根	
		新技術紹介		
		その他	小野副会長	構造物診断セミナーについて
		その他	東海診断士会	JCD年次発表会報告
28	2023/4/20	巻頭言	総務部会長	総会案内について
		地区の会 活動紹介	東 京	
		新技術紹介		
		その他		JCI意見交換会報告
29	2023/7/15	巻頭言	副会長	総会報告について
		地区の会 活動紹介	石 川	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会募集
30	2023/10/15 →10/27変更	巻頭言	技術部会長	JCD年次発表会案内について
		地区の会 活動紹介	大 分	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会案内
31	2024/1/15 →2/10変更	巻頭言	会 長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	青 森	
		新技術紹介		
		その他	新潟診断士会	JCD年次発表会報告
32	2024/4/15	巻頭言	総務部会長	総会案内について
		地区の会 活動紹介	静 岡	
		新技術紹介		
		その他		JCI意見交換会報告
33	2024/7/15	巻頭言	副会長	総会報告について
		地区の会 活動紹介	高 知	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会募集
34	2024/10/15 2024/11/15	巻頭言	技術部会長	JCD年次発表会案内について
		地区の会 活動紹介	京 滋	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会案内
35	2025/1/15	巻頭言	会 長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	新 潟	
		新技術紹介		
		その他	青森？	JCD年次発表会報告

## 5-5 その他

以下を説明した。

1. 理事様のご家族に御不幸があった場合の対応について（事務局齋田から）
  - ・1 親等までは、弔電を送る。
  - ・理事様同士の付き合いもあるので、その場合は個人個人にお任せする。
2. コンクリート工学年次大会 2024（松山）について（事務局齋田から）
  - ・コンクリート構造物診断セミナーで、パンフレットを 100 部程度しか配布できなかった。（天野理事から参加者は 120 名程度とのこと）PR 不足もあったかもしれないので、JCI との意見交換会などで意見交換していく。JCI と JCD でタッグを組んでいく。
  - ・500 名収容できる会場で 120 名ですので、JCI 側も反省があるのではないか。
  - ・2023 年度は生コンセミナーと同時開催であったので、450 部は配れたが、2024 年度は開催日程が別日であったので、配布が少なかったのではないか。
  - ・JCI のセミナー等があればパンフレットを置いてもらうなどがよい。
  - ・2025 年度は盛岡大会であるので、奈良理事にも対応（配布等）をお願いしたい。
3. 現場見学会について（奈良理事から）
  - ・ヘルメットが必要なため、持参すること。青森県コンクリート診断士会では準備しない。
4. JCD2024 年次大会（青森大会）の昼飯について（奈良理事から）
  - ・周りにはいろいろと飯屋さんがある。事務局へお送りしてある。
  - 事務局からお知らせします。
5. JCD2024 年次大会（青森大会）全日（10 月 9 日）の会食（夜）について（奈良理事から）
  - ・前日（10 月 9 日）の夜に会食を準備していますので、参加申込を奈良理事までお願いします。

## 6. 原田副会長閉会挨拶

「皆様、お疲れ様でした。今回、鶴石理事ですがはじめてのご参加を有難うございます。業務体験発表を今まで開催してきましたが、醸成してきたなど。また、JCI との係わり方も小野副会長も言われていたように「テクニカルレポート」で掲載したらどうかとか、優秀発表者を表彰したらどうかとか、前向きな活発な意見が出てきました。これは、リモートであれ顔を見ながらいろんな話ができて、やっとここにきて JCD が円熟してきたなど感じます。特に業務体験発表会などは大きなイベントになったかなと思います。そして、継続していかなければならないと思います。本年度は 16 地区のうち 10 地区が発表して頂きます。青森県は地元開催で 2 件発表となっていますが、色々と新規性のある内容もあって非常に聞きに行きたいなという内容です。今後、JCD が今まで以上に皆さんが活動される場になればいいかなと思います。青森の方はホスト役として奈良理事は大変ですが色々とお世話かけるとは思います。どうぞよろしくお願いいたします。また、皆さんと青森県で会えることを楽しみにしています。この理事会ですが年 6 回ということで 1 回目、3 回目および 6 回目は対面で開催し、残りはリモート開催となり、定期的に会って、皆さんから意見が出ていいなと思います。ぜひともこれを継続していくようお願いしたいと思います。事務局齋田さんも資料など作成で大変ですが宜しくよろしくお願いいたします。以上です。ありがとうございました。

以上  
文責：齋田

# 資料

# 2024 年度第 2 回理事会

令和 6 年 9 月 4 日 16 時～ Zoom 開催

## 次 第

- 1、橘高会長開会挨拶
- 2、今後の理事会のあり方について
  - ⇒第 1 回理事会（5 月 24 日）済 と定時総会時前に開催した（名古屋）
  - 第 2 回理事会（9 月 4 日） Web 開催（今回）
  - 第 3 回理事会（11 月 1 日） 東京 JCI で開催予定

⇒理事会で取り上げたい事項があれば。

⇒屈託のない意見交換ができればよい。
- 3、議題（審議事項）
  - 議案 1：理事の交通費及び宿泊費について
  
  - 議案 2：理事会の開催について
  
  - 議案 3：JCD 年次大会（青森大会）
  
  - 議案 4：JCD2025 年次大会以降について確認
- 4、確認事項
  - 確認事項 1：JCD2024 年次大会（青森大会）について
  
  - 確認事項 2：かわら版について
- 5、その他
- 6、原田副会長閉会挨拶

## 2024年9月4日 第2回理事会 議案

### 議案1：理事の交通費及び宿泊費について

理事から頂いた交通費及び宿泊費から以下を計算をしました。

開催地		交通費	宿泊費	合計
5月（名古屋）	第1回理事会（当初）	621,980円	130,000円	776,098円
	（結果）	338,594円	100,000円	453,594円
10月（東京） （2024年は11月）	第2回理事会（当初）	621,980円	130,000円	776,098円
	（予想）	422,128円	30,000円	443,368円
翌年3月（東京）	第3回理事会（当初）	762,776円	130,000円	917,776円
	（予想）	422,128円	30,000円	443,368円
年次大会（青森）	（当初）	1,480,204円	360,000円	1,865,204円
		支給なし	支給なし	支給なし
				4,435,176円
	（予想）			1,340,330円

役員活動交通費として、2024年度は185万円を計上しています。

2024年4月30日理事会にて決定事項・・・今年の5月の定時社員総会は、理事には交通費等を全額支給  
（交通費+宿泊費10,000円 支給）

上記の決定事項を受けてですが・・・

予想では、134万円程度となるため、第2回と第3回は交通費等を全額支給で良いのではないかと

議案2：理事会の開催について

月	令和5年まで	令和6年から(案)
5月	(AM) 第1回理事会  (PM) 定時社員総会 (名古屋開催)	(AM) 第1回理事会 JCD理事の全員参加 (費用は全額支給)  (PM) 定時社員総会 (名古屋にて開催予定)
8月 (9月)	第2回理事会 (Zoom)	第1回リモート理事会
10月 (2024年は11月)	第1回部会長会議 (JCI 東京開催)	第2回理事会 (名古屋か東京 JCI) (費用は全額支給)
11月 (2024年は12月)	第3回理事会 (Zoom)	第2回リモート理事会
翌年1月 (翌年2月)	第4回理事会 (Zoom)	第3回リモート理事会
翌年3月	第2回部会長会議 (JCI 東京開催)	第3回理事会 (東京 JCI) (費用は全額支給)

### 議案3：JCD 年次大会（青森大会）について（技術部会古川部会長から）

#### 1.年次大会のプログラム（参照 P9）

JCD 事務局で作成していただいた内容（発表者と時間配分）について

#### 2.当日の役割分担

司会：奥村様と古川で午後の途中で交代し、講評もその前後で分けて2人で行う  
コンクリート工学冊子への投稿：内川様、よろしくお願いいたします。

#### 3.年次大会での優秀な発表について

優秀発表を技術部会として取り上げて、ご本人に「コンクリート工学」に投稿するよう働きかけをするかどうか？

その場合、当日の発表を聴いてから特選する時間は無いと思います。後日打診しますか？事前に根回ししておきますか？

（奥村理事からの意見）

やはり内容を聞いてからが良いと考えます。但し、最初の挨拶で「コンクリート工学」への投稿を優秀発表者から選抜する旨をアナウンスする必要があると考えます。

#### 4.次回の JCD2025 年次大会について

開催：島根県コンクリート診断士会

島根県コンクリート診断士会の 20 周年記念と同時開催。

案として午前中に 20 周年記念セレモニーを行い、午後から JCD2025 年次大会（島根大会）を行う。開催地は「松江」。

#### 5.発表申込について（事務局齋田から）

発表申込み時に、メール送信エラー等が去年と今年の 2 件あったのが理由です。

今後は、Google フォームでお願いしたいです。この方法なら、エラーが出ないと思います。

#### 6,CPD について（事務局齋田から）

事務局で申請して、無事許可されました。

#### 7.申込状況について（事務局齋田から）

参加者資料を示します。（エクセルデータ）

議案 4：JCD2025 年次大会以降について確認（事務局齋田から）

以下の予定で決定したい。

開催年度	開催診断士会	地域
2025	島根県	中国
2026	静岡県	静岡
2027	福井県	北陸
2028	鳥取県	中国
2029	大分県	九州
2030	富山県	北陸
2031	長野県	信越
2032	北海道	北海道
2033	京滋	関西

## 確認事項 1：JCD2024 年次大会（青森大会）について

次頁以降の資料参照です。

### 1、プログラムの変更（事務局齋田から）

プログラムを一部変更しました。

- ・昼休憩を 12 時～13 時を「12 時～12 時 45 分」としました。
- ・午後休憩を 20 分から「15 分」としました。

### 2、青森大会について（奈良理事から）

奈良理事、お願いいたします。

確認事項2：かわら版について（事務局齋田から）

かわら版第34号ですが、発行月日を変更したい。

青森大会が10月10日なので、11月15日かどうか？

その際、巻頭言を「JCD年次大会報告」として、その他を「JCD年次大会優秀者発表」とかではどうか？

JCDかわら版発行予定 表

作成修正：2024.09.04

No.	発行予定日	項目	原稿依頼先	内容
27	2023/1/10	巻頭言	会長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	島根	
		新技術紹介		
		その他	小野副会長	構造物診断セミナーについて
28	2023/4/20	巻頭言	総務部会長	総会案内について
		地区の会 活動紹介	東京	
		新技術紹介		
		その他		JCI意見交換会報告
29	2023/7/15	巻頭言	副会長	総会報告について
		地区の会 活動紹介	石川	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会募集
30	2023/10/15 →10/27変更	巻頭言	技術部会長	JCD年次発表会案内について
		地区の会 活動紹介	大分	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会案内
31	2024/1/15 →2/10変更	巻頭言	会長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	青森	
		新技術紹介		
		その他	新潟診断士会	JCD年次発表会報告
32	2024/4/15	巻頭言	総務部会長	総会案内について
		地区の会 活動紹介	静岡	
		新技術紹介		
		その他		JCI意見交換会報告
33	2024/7/15	巻頭言	副会長	総会報告について
		地区の会 活動紹介	高知	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会募集
34	2024/10/15 2024/11/15	巻頭言	技術部会長	JCD年次発表会案内について
		地区の会 活動紹介	奈良	
		新技術紹介		
		その他		JCD年次発表会案内
35	2025/1/15	巻頭言	会長	年頭挨拶
		地区の会 活動紹介	新潟	
		新技術紹介		
		その他	青森？	JCD年次発表会報告

その他：何かあれば、お願い致します。

事務局齋田から

- ・ 理事のご家族様に御不幸があった場合の対応について  
→忌電を送るのかどうかなど。
- ・ コンクリート工学年次大会 2024（松山）について  
→パンフレットを 500 部準備して持って行きましたが、100 部程度しか配れませんでした。  
コンクリート構造診断セミナーの参加者が少ないと感じました。  
もう少し違った切り口での発表が必要だと感じました。  
(6/26 の生コンセミナーは、会場がいっぱいだったとお聞きしました)
- ・ 11/1 の第 2 回理事会（東京）について

# 資 料

令和 6 年 8 月 20 日

# JCD2024 年次大会（青森大会）

（保有技術発表および業務体験発表）

主催 （一社）日本コンクリート診断士会

共催 青森県コンクリート診断士会

開催日時：令和 6 年 10 月 10 日（木） 10:30～17:00

場 所：青森県青森市青森駅前：ねぶたの家「ワ・ラッセ」交流学習室 1

## プ ロ グ ラ ム

開会あいさつ (一社)日本コンクリート診断士会 会長 橋高 義典 10:30～10:40

### (1) 会員による保有技術発表（※Web 発表）

- 1) サークュラーエコノミー実現に向けた取り組みと環境配慮型コンクリート  
佐久間 誉義 三和石産(株)テストング事業部 10:40～11:00
  - 2) 高耐久コンクリート「ヘルサルト」を使用した PC 床版「パワースラブ」 小笠原 重延 (株)技研 11:00～11:20
  - 3) 補修工事における生産性向上技術「左官アシスト工法」 南 真樹 株式会社 南組 11:20～11:40
  - 4) 橋梁点検業務における内業効率化の新技术システムについての提案 ※  
蛸原 猛 株式会社 九州建設サポート 11:40～12:00
- <昼休憩> 12:00～13:00

### (2) 会員による業務体験発表

- 1) 「木コンクリート橋」～その歴史と構造～ 松浦 寛司 (島根県) 13:00～13:20
  - 2) 橋梁維持工事 (橋守) と「予防保全による長寿命化」について 羽賀 義広 (青森県) 13:20～13:40
  - 3) 橋梁メンテナンス体験施設の建設と今後の活用効果について 音道 薫 (青森県) 13:40～14:00
  - 4) 超音波トモグラフィ装置を用いた RC 造内部の変状調査事例について 広瀬 知晃 (東京) 14:00～14:20
  - 5) ケーソン基礎橋脚周りの局部洗堀が主因と考えられる 7 径間 PC 単純桁橋の変状  
久保 昭博 (宮崎県) 14:20～14:40
  - 6) 「高知県の RC 橋脚巻立てコンクリート施工時における表層品質確保の工夫」  
濱渦 康博 (高知県) 14:40～15:00
- <休 憩> 15:00～15:20
- 7) “ME を活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務”を通じて 森本 翔太郎 (東海) 15:20～15:40
  - 8) 北陸地方におけるスラブ橋用プレレストコンクリート橋桁における調査 野村 昌弘 (石川県) 15:40～16:00
  - 9) 塩害劣化により内在塩分を有する既設橋脚に対する RC 巻立て補強における塩分浸透解析  
(差分法による塩分浸透解析) 土田 大嗣 (新潟県) 16:00～16:20
  - 10) 建設後 54 年経過した PC 構造歩道橋の撤去工事と解体調査の報告 天谷 公彦 (福井県) 16:20～16:40
- 講 評 技術部会部会長 古川 博人 16:40～16:50
- 閉会あいさつ 青森県コンクリート診断士会 会長 奈良 裕 16:50～17:00

以下、発表についての要旨（アブストラクト）です。

#### 会員による保有技術発表

<p>1) サーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みと環境配慮型コンクリート</p> <p style="text-align: right;">佐久間 誉義 三和石産(株)テストング事業部</p> <p>(内容)</p> <p>戻りコンから製造した再生セメントを使用した環境配慮型コンクリートは、1 m<sup>3</sup>あたり 8~26%の CO2 排出量を削減することが可能。戻りコンを再利用することにより、資源の有効活用と廃棄物処理の軽減も図れる。</p>
<p>2) 高耐久コンクリート「ハレーサルト」を使用した PC 床版「パワースラブ」</p> <p style="text-align: right;">小笠原 重延 (株)技研</p> <p>(内容)</p> <p>主に市町村管理の小規模橋梁においてその更新が課題となる中、高耐久コンクリート「ハレーサルト」と PC 床版「パワースラブ」を組み合わせ、上部工の重量増を抑えつつ耐久性も向上させ課題に対応するものである。</p>
<p>3) 補修工事における生産性向上技術「左官アシスト工法」</p> <p style="text-align: right;">南 真樹 株式会社 南組</p> <p>(内容)</p> <p>機械化施工「左官アシスト工法」による施工方法や特長、活用効果や可能性について紹介する。また、農業水利施設以外の構造物への応用について、水力発電所導水トンネル維持管理工事への適用例について報告する。</p>
<p>4) 橋梁点検業務における内業効率化の新技术システムについての提案 ※Web 発表</p> <p style="text-align: right;">蛭原 猛 株式会社 九州建設サポート</p> <p>(内容)</p> <p>5 年 1 度、実施が義務付けされている橋梁点検は、従来、過去の橋梁点検データ（損傷写真や損傷図等）を紙データとして大量に出力し、現場にて実施していた点検作業を、電子野帳タブレットで実施できるように改善し、内業業務の効率化を目的にシステムを開発した。</p>

#### 会員による業務体験発表

<p>1) 「木コンクリート橋」～その歴史と構造～</p> <p style="text-align: right;">松浦 寛司 (島根県)</p> <p>(内容)</p> <p>島根県出雲市平田町の小境川には、橋長 6.5m、幅員 5.1mの単純桁橋が市道橋として供用されている。この橋梁は、木材の主桁を 60cm 間隔で配置し、コンクリート床版と合成した「木コンクリート」橋である。この形式の橋は、戦時中に北海道で開発されたものであるが、今日も通行制限もなく供用され続けている。どのような背景で開発されどんな合成構造なのか、なぜ島根に残るのか、無筋構造として開発された床版は本当に無筋なのか、大きな損傷もなく今日も供用され続ける工夫点について報告する。</p>
<p>2) 橋梁維持工事（橋守）と「予防保全による長寿命化」について</p>

<p>(内容)</p> <p>全国に先駆けて行われた青森県橋梁アセットマネジメントの中で、地元建設会社が担う橋梁維持工事（日常点検、清掃、緊急処置、補修工事他）を18年以上の担当する中で考察する「予防保全による長寿命化」について発表します。</p>	<p>羽賀 義広（青森県）</p>
<p>3) 橋梁メンテナンス体験施設の建設と今後の活用効果について</p> <p>(内容)</p> <p>八戸工業大学の敷地内に、幅員 3.3m、橋長 16.15m、2 径間の橋梁メンテナンス体験施設を建設した。この橋梁は、インフラ老朽化の到来により、今後維持管理がひっ迫することを想定し、技術者の育成・高度化を目的とした体験施設である。本橋には、数種類の落橋防止装置や支承、伸縮装置、車両防護柵などを設置している。その他、床版防水は2種類を採用し、RC床版の鉄筋の変遷や型枠の変遷、床版の補修・補強工法など、多くの橋梁メンテナンスを学習できる内容が盛り込まれており、それらについて発表するものである。</p>	<p>音道 薫（青森県）</p>
<p>4) 超音波トモグラフィ装置を用いたRC造内部の変状調査事例について</p> <p>(内容)</p> <p>本稿では、外部変状の豆板、コールドジョイント等の初期欠陥が発生したRC造を対象に、超音波トモグラフィ装置を用いた内部変状の調査事例を紹介するとともに、コア採取法と衝撃弾性波法との併用により得られた結果について報告する。</p>	<p>発表者未定（東京）</p>
<p>5) ケーソン基礎橋脚周りの局部洗堀が主因と考えられる7径間PC単純桁橋の変状</p> <p>(内容)</p> <p>竣工後58年の道路橋の変状として、①鋼製支承部材の破断や変形、②上部工の水平回転・水平移動（桁間の目地の開閉、桁同士の衝突による地覆のせん断ひび割れ）等がある。これらの発生原因について考察し、所見を述べる。</p>	<p>久保 昭博（宮崎県）</p>
<p>6) 「高知県のRC橋脚巻立てコンクリート施工時における表層品質確保の工夫」</p> <p>(内容)</p> <p>四国内陸部に位置する高知県の山間部は、氷点下をわずかに下回る程度である。これに加え、渇水期（11月～2月末）の工程制約を受けるRC橋脚巻立て工の施工時に配慮したコンクリートの表層品質確保事項について報告する。</p>	<p>瀧渦 康博（高知県）</p>
<p>7) “MEを活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務”を通じて</p> <p>(内容)</p> <p>岐阜県独自の取り組み「ME（メンテナンスエキスパート）を活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務」を実施した業務体験を紹介する。当工事の特徴や、点検・修繕業務を通じて感じたコンクリート診断士として</p>	<p>森本 翔太郎（東海）</p>

の所見などを報告する。

**8) 北陸地方におけるスラブ橋用プレストレストコンクリート橋桁における調査**

野村 昌弘 (石川県)

(内容)

北陸地方では、JIS A 5313 スラブ橋用プレストレストコンクリート橋桁にアルカリシリカ反応が多数発生しているのが現状である。コアを採取することができたため、各種試験結果について報告する。

**9) 塩害劣化により内在塩分を有する既設橋脚に対する RC 巻立て補強における塩分浸透解析**

(差分法による塩分浸透解析)

土田 大嗣 (新潟県)

(内容)

塩害劣化により内在塩分を有する橋脚に対して、RC 巻立て補強を実施する際の既設コンクリートから巻立てコンクリートへの塩分浸透による補強鉄筋の腐食影響について、「差分法を用いた塩分浸透解析」により検討した内容を報告する。

**10) 建設後 54 年経過した PC 構造歩道橋の撤去工事と解体調査の報告**

天谷 公彦 (福井県)

(内容)

建設から 54 年が経過した PC 歩道橋を撤去することとなった。本橋は、プレキャスト部材を多用しており、各部材はプレストレスによって一体化している。そこで、撤去時の応力状態の変化を考慮しつつ、安全に撤去可能な施工方法を計画した。さらに、撤去桁の解体調査を実施し、当時の技術レベルと現在の品質を評価した。本報告では、これらの成果について報告する。

令和6年8月20日

日本コンクリート診断士会会員 各位

## JCD2024 年次大会（青森大会）のご案内

（一社）日本コンクリート診断士会

技術部会長 古川博人

会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。

2024年次大会（青森大会）「保有技術発表及び業務体験発表」についてご案内いたします。

年次大会では、法人会員が保有する技術の発表である「保有技術発表」と、会員の発表の場である「業務体験発表」を同日に開催いたします。

これらの発表会は、各地区特有のコンクリート構造物の劣化状況およびその診断技術に広く触れることでコンクリート診断士のスキルアップにつながると共に、会員相互の交流を深めることを目的として開催しております。

**CPD認定プログラムとなる予定です。現地参加のみとします。**

発表方式は、会場での対面発表とWeb視聴のハイブリッド方式とオンデマンド方式による視聴とします。また、今年も併せまして、交流会と現場見学会の開催も予定しております。

### 記

#### 1. 年次大会（青森大会）「保有技術、業務体験発表会」

日時：令和6年10月10日（木） 保有技術発表 **10:30～12:00**、業務体験発表 **13:00～17:00**

会場：青森県青森市青森駅前：ねぶたの家「ワ・ラッセ」 交流学習室 1

〒030-0803 青森市安方1-1-1 TEL:017-752-1311

開催方法：対面+Web視聴のハイブリッド方式+オンデマンド方式による視聴

募集人員：40名（申し込み順で〆切）

参加費：会員 3,000円（業務体験発表者のみ無料） 非会員 5,000円 Web閲覧 無料

主催：（一社）日本コンクリート診断士会、共催：青森県コンクリート診断士会

#### 2. 年次大会（青森大会）「交流会」

日時：令和6年10月10日（木） 18:00～20:00

会場：青森市本町 ねぶたの國「たか久 本店」

募集人員：40名（申し込み順で〆切）

参加費：5,000円

#### 3. 年次大会（青森大会）「現場見学会」

日時：令和6年10月11日（金） 8:00～16:00

現場見学時間：8:40～10:00

見学場所：駒込ダム建設現場（安藤ハザマ・日本国土開発・鹿内組特定JV）

青森市大字駒込地内（八甲田山の中腹辺り）

昼食：五所川原市 ホテル「パークイン 五所川原」

募集人数：40人（申し込み順で〆切）

参加費：5,000円（昼食代込み、観光施設見学費用込み）

主催：青森県コンクリート診断士会

(一社) 日本コンクリート診断士会

2024年9月5日に

奈良理事が修正したもの

## 2024年次大会（青森）現場見学会

日時：2024年10月11日（金）8:30～15:40

見学現場：駒込ダム建設現場（青森市大字駒込地内）

### 予定時間

8:30 青森駅前 駅前交番前 出発 (24km 程度)

9:20 駒込ダム 建設現場 駐車場

幸畑経由、八甲田へ旧銅像茶屋駐車場から1km先より左に1km  
入ったところで現地の説明を受ける

9:20～10:00 現場見学会

10:10 五所川原方面へ (50km程度)

11:20 立佞武多館 昼食予定

11:50 立佞武多館 見学

12:30 斜陽館方面へ (11km 程度)

12:50 津軽三味線会館 見学

(三味線演奏 13:00～13:20 ビデオ 13:25～13:40)

斜陽館 見学

14:30 青森へ (50km 程度)

※新青森駅にも寄ります。

新青森駅には15:30頃には到着予定で、東京行の15:52発の  
はやぶさ34号に間に合う予定ですが、安全を考慮し、東京行  
17:22発のはやぶさ40号の予約をお願いします。

はやぶさ34号に間に合うようであれば、その時点で変更かけて  
下さい。

15:40 青森駅前 駅前交番 到着

## ◎青森駅近辺のホテル情報及び観光情報（特に津軽地方）

### ※ホテル情報

下記のホテルは青森駅前近辺にあり、比較的安価で、会場の徒歩圏内です。

◎ホテル「ルートイン青森駅前」

[route-inn.co.jp](http://route-inn.co.jp)

◎ホテル「東横 IN 青森駅前」

[toyoko-inn.com](http://toyoko-inn.com)

◎ホテルパサージュ II

[passage2.co.jp](http://passage2.co.jp)

◎ホテル「マイステイズ 青森駅前」

<https://www.mystays.com/hotel-mystays-aomori-station-aomori/>

◎青森センターホテル（青森まちなか温泉）

<https://aomori.atinnhotels.com/>

### ※観光情報

#### 《青森市》

◎青森ねぶた祭り

毎年8月2日から7日まで、青森市において開催されるねぶた祭りです。  
青森駅前にねぶたの家「ワ・ラッセ」という、ねぶたの展示館ができており  
ねぶたの歴史とか前年度のねぶた大賞及び各賞のねぶたを展示しています。  
ねぶたを理解する上で、先にワ・ラッセを見学なさることをお勧めいたします。

（場所は、青森駅前 徒歩1分です）<https://www.nebuta.jp/warasse/>

9:00～17:00 @620円

〒030-0803 青森市金安方1-1-1

☎ 017-752-1311

**「ワ・ラッセ」は、今回の年次大会の会場です。**

◎のっけ井

青森駅前から5分程度の場所にある青森魚菜センターで実施している  
「のっけ井」という食事が大人気です。（昼食時の利用ができます）  
2,000円のチケットを購入して、どんぶりにご飯、その後自分が食べたいと思う  
食材をのせてもらい、食べるという方法です。

7:00～16:00

〒030-0803 青森市古川1-1-7

☎ 017-763-0085

<https://nokkedon.jp/>

◎世界遺産 「三内丸山遺跡」

世界遺産に認定された縄文遺跡の展示場です。

新青森駅より、車で 10 分程度

9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 @410 円

青森市三内字丸山 3 0 5

☎ 017-766-8282

<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

◎青森県立美術館

三内丸山遺跡すぐそば

9 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 @510 円

青森市安田近野 185

☎ 017-783-3000

<http://www.aomori-museum.jp/ja/>

《五所川原市》

◎斜陽館

五所川原市金木にある太宰治の生家で、津島家という旧大地主の家が保存され  
公開されております。( <http://www.kanagi-gc.net/> )

9:00~17:00

〒037-8686 五所川原市金木町朝日山 3 1 9 - 1

☎ 0173-35-2111

◎津軽三味線会館

斜陽館のすぐ向かいにある津軽三味線の会館です。

毎日、三味線ライブが開催されています。

9:00~16:00

五所川原市金木町朝日山 189-3

☎ 0173-54-1616

斜陽館と津軽三味線会館の見学料金は、両方で 1,000 円です。

◎五所川原立佞武多

五所川原の「立佞武多」は高さ 2 2 ~ 2 4 m もある大きな高さのあるねぶたで  
一見の価値はあると思います。

五所川原市内にある「立佞武多の館」で体験できます。

この「立佞武多館」には、一昨年・昨年・今年の3台の立佞武多を展示しており、上から立佞武多を見学できるようになっており、またビデオ上映も実施しており、実際の祭りを見なくとも十分実感できます。

9:00～17:00 @650円 (<http://www.tachineputa.jp/>)

〒037-0063 五所川原市大町2-1-1

☎ 0173-38-3232

**※斜陽館・津軽三味線会館・立佞武多館は  
現場見学会の参加者はご覧になれます。**

## 《弘前市》

### ◎弘前城

東北で唯一の現存の天守です。

1661年築城（現存している天守は1811年完成したもの。

石垣修理のために、現在の場所に移設しています。（今年まで現在の場所）

本来であれば、桜の時期には数十万人の観光客が訪れる桜の名所です。

約15万坪の敷地に、2,600本の桜が植えられている。

<https://www.hirosakipark.jp/hirosakijo.html>

### ◎弘前ねぶた

これも「ねぶた」ですが、青森の「ねぶた」・五所川原の「立佞武多」とも違う大型の扇方のねぶたです。

弘前城のすぐ近くにある「津軽藩ねぶた村」があり、弘前ねぶたを実感できる展示館があります。

9:00～17:00 @600円

〒036-8330 弘前市亀甲町61

☎ 017-39-1511

<http://neputamura.com/>

追加しました

奈良理事から明示

### 屋食場所の案内



© ONE COMPATH 地図データ © GeoTechnologies Inc.